

食肉への注射針の残留事故 が発生しました！

今般、道内で生産・肥育され、道外でと畜・加工された牛肉から注射針の残留が確認されました。

注射針は、一般消費者の調理段階で発見されました。

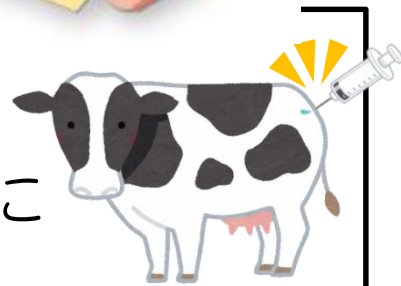
牛への投薬時に注射針の破損・残留が生じた可能性があります。

本事案では幸いにも人への危害は無かったものの、畜産物の安全安心を脅かし、風評被害につながりかねません。



【注射針の残留事故防止のポイント】

- 注射をする際は家畜の保定を確実に
- 曲がった注射針は使わない
- 注射針の破損を確認したら速やかに除去



【注射針が残ってしまったら（可能性も含め）】

- 残留個体に標識、記録を残す
- 出荷時に残留情報を確実に伝達